



県議会ふくしま

11月臨時会(11/30)及び12月定例会の概要(12/2～17開催)

第84号

[企画・編集]
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

〈広告〉

76件の議案を可決

新型コロナウイルス感染症拡大防止等のための136億8,100万円の補正予算など

1 新型コロナウイルス感染症対策 97億6,318万円

【主な内訳】
・医療従事者への慰労金や手当金の増額支給分 32億8,736万円
・患者受入協力病院等で院内感染が発生した場合の経営支援補助金 2億9,520万円
・福島空港の利用回復を図るためのキャッシュバックキャンペーンなどの利活用促進経費 1億7,075万円

2 公共事業の維持補修費など 4億6,181万円

3 県職員の期末手当の改定に伴う減額 6億6,000万円

補正予算の主な内容

11月臨時会を開催

11月臨時会が11月30日に開催され、知事より人事委員会からの期末手当の改定等を内容とする報告及び勧告により県職員の期末手当の支給割合を引き下げる「職員給与に関する条例の一部を改正する条例」など条例に関する議案5件及びその他の議案1件が提出され、総務、商労文教委員会等で審査を行い、委員長報告の後いずれも可決承認されました。

立皇嗣の礼賀詞奉呈 決議を可決



▲賀詞を朗読する太田光秋議長

本会議で、秋篠宮さまが皇位継承順位1位の皇嗣(こうし)となられたことを国内外に示す立皇嗣の礼を祝う「立皇嗣の礼に関する賀詞奉呈決議」を全会一致で可決し、太田光秋議長が賀詞を朗読した。

12月定例会では、知事提出議案として新型コロナウイルス感染症の拡大防止や医療体制の整備等、また県職員の給与改定のための一般会計補正予算2件のほか、特別会計等補正予算10件、「福島県屋外広告物条例の一部を改正する条例」など条例に関する議案10件、その他の議案49件、議員提出議案として「私学助成の充実強化等を求める意見書」など国へ提出する意見書5件、請願は「私立小・中・高等学校に対する運営費補助金の充実を求めることについて」など9件をそれぞれ可決・承認・同意・採択しました。

定例会での主な質疑

令和3年度 当初予算編成

【質疑】知事は、令和3年度当初予算をどのような考えの下で編成していくのか。

【答弁】来年度は第2期復興・創生期間の初年度として重要な年となることから、復興を着実に進めることはもとより、人口減少対策や福島ならではの地方創生の実現に向けた施策を力強く推進する。また、感染症の拡大防止や医療提供体制の整備と社会経済活動の維持、回復の両立、さらに、災害からの復旧、防災力の強化なども進めていく。復興財源や一般財源総額を確保し、県民の皆さんが未来への希望を持てる魅力ある福島を築き上げていく。

多核種除去設備等 処理水の取扱い

【質疑】多核種除去設備等処理水の取扱いについて、どのように取り組んでいくのか、知事の考えを尋ねる。

【答弁】先月(11月)、経済産業大臣に対し、トリチウムや処理水に関する県民や国民の理解が深まるよう正確な情報発信に取り組むとともに、県内外で風評を懸念する意見が数多く示されていることから具体的な風評対策を示すよう求めた。引き続き、国に対し、自治体や関係団体等から示された様々な意見を踏まえ、処理水の取扱いによって、本県の農林水産業や観光業に影響を与えることがないよう

令和3年度 当初予算編成

【用語解説(福島県HP原子力用多核種除去設備・アルプスと呼ばれる東京電力福島第一原子力発電所建屋内に滞留している汚染水を浄化するための設備)トリチウム以外の大半の放射性物質を取り除くことができる。トリチウム・水素の放射性同位体である三重水素の別称。原子炉内でも生成するが、宇宙線と大気中の窒素や酸素との反応でも生成するので、自然界にも存在している。

過疎・中山間地域の 振興

【質疑】過疎・中山間地域の振興にどのように取り組んでいくのか。

【答弁】地域課題の解決のため、振興局と市町村が連携して地域の主体的な取組を支援し、移住・定住の促進等人の流れの創出に取り組んできた。今後、こうした取組に加え、来年(今年)12月を目途に策定する次期過疎・中山間地域振興戦略にデジタル化の推進や持続的な発展などの視点を盛り込みながら施策の充実を図る。

新型コロナウイルス 感染症の検査体制

【質疑】医療機関や介護施設等で重点的な検査を実施すべきと思うが、知事の考えを尋ねる。

【答弁】重症化リスクの高い集団の多いこれらの施設で発熱等し、条例案(中間案)等について協議した。また、(仮称)ふくしま受動喫煙防止条例(案)に対する意見について、ホームページ等により1月15日まで広く募集を行うこととした。また、12月2日に第2回福島県議会ICT化検討会(鈴木智会長)を開き、検討項目や今後のスケジュールについて協議した。

議員勉強会の開催

12月7日、日本銀行福島支店の植田リサ支店長を講師に迎え、新型コロナウイルス感染症拡大による県内経済への影響や今後の見通しなどについて説明を受けた。

県内経済の回復

【質疑】新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている県内経済の回復に向け、どのように取り組んでいくのか。

【答弁】これまで、実質無利子型融資制度の創設による資金繰り支援や、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取組む事業者への助成、小売業、サービス業などの需要喚起を目的としたキャンペーンの実施など様々な対策を組み合わせて、県内事業者の事業活動の維持・継続と労働者の雇用確保に努めてきた。引き続き、事業所や店舗における感染防止対策の徹底や新しい生活様式の定着を呼び掛け、国の取組も含めた様々な対策を総合的・効果的に展開する。

小中学校のいじめ対策

【質疑】公立小中学校におけるいじめ対策にどのように取り組んでいるのか。

【答弁】各学校において、いじめを早期に発見して積極的に認知し、適切に対応することが大切であり、SNSトラブルなどの具体的事例を用いた研修会を開催するとともに、24時間いつでも電話相談の実施やスクールカウンセラーの配置による教育相談体制の充実を図るなど積極的に取り組んでいく。

新副議長等の選任など

12月17日の12月定例会閉会日、副議長辞職に伴い選挙が行われ、青木稔議員が第78代副議長に選任された。



▲就任あいさつをする青木稔副議長

あわせて、避難地域復興・創生等対策特別委員長には吉田栄光議員が選任された。

また、知事から追加提出された星公正議員を監査委員とする人事案のほか収用委員2名の人事案件に全会一致で同意した。

採択した請願 (意見書、決議を求めるものを除く)

- 1 私立小・中・高等学校に対する運営費補助金の充実を求めることについて
- 2 保護者納付金(授業料)の公私間格差の是正を求めることについて
- 3 私立幼稚園・認定こども園における幼児教育に対し、震災・水害対策に係る支援の創設と、少子化の激変緩和を求めることについて
- 4 「心身障がい児教育」「子育て支援推進事業」「幼稚園教諭・保育教諭の処遇改善」の助成充実並びに「緊急スクールカウンセラー等派遣事業」の継続を求めることについて
- 5 私立専修学校運営費助成金及び振興助成金の充実を求めることについて
- 6 職業実践専門課程認定校に対する助成金の新設を求めることについて
- 7 特別支援を必要とする生徒への教育事業助成金(高等課程対象)の新設を求めることについて
- 8 少子化時代に対応した公私立高等学校募集定員のあり方等に対する支援を求めることについて

お知らせ

- ◆令和3年2月定例会は、2月12日(金)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: (024) 521-7608 FAX: (024) 521-7965
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル (YouTube)」も是非ご覧ください。
- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます。
- ◆詳しい情報は →



携帯からは

可決した国への意見書

(令和2年12月17日、国へ提出)

- 1 私学助成の充実強化等を求める意見書
- 2 多核種除去設備等処理水の方法について、国民・県民理解の醸成と風評対策の抜本的強化を求める意見書
- 3 国際教育研究拠点の充実等を求める意見書
- 4 犯罪被害者支援の充実を求める意見書
- 5 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書